

奈良県感染症情報

平成 26 年 第 27 週 (6 月 30 日 ~ 7 月 6 日)
 奈良県感染症情報センター (奈良県保健研究センター)
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

■ 病原体(ウイルス)検出情報(6月)

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たりの患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	ヘルパンギーナ	5.03	(2.88)	↑↑	↑↑	↑↑	↑↑
2	感染性胃腸炎	3.06	(3.65)	↓	↓	↓	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	1.06	(1.29)	↓	↓	↓	↑↑
4	水痘	0.88	(0.62)	→	→	↓	↓
5	咽頭結膜熱	0.85	(0.97)	→	→	↓	↓

発生状況: **大流行** **流行** やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 ↑↑急増、↑増加、↗やや増加、→横ばい、↘やや減少、↓減少

◆ 県内概況 ◆

◆ 県全体でヘルパンギーナが流行しています

警報レベル・・・奈良市保健所・桜井保健所・内吉野保健所

警報レベル直前・・・郡山保健所・葛城保健所・吉野保健所
 (警報レベル開始基準値は疾患ごとに定められています。)



- ヘルパンギーナは夏風邪の代表的なもので、A 群コクサッキーウイルスが原因であることが多いといわれています。突然の発熱、咽頭痛に続き、口の中に水疱ができる疾患です。発熱時に熱性けいれんを伴うことや、痛みにより水が飲みにくくなり、脱水症を起こすことがあるため注意が必要です。
- 感染経路は飛沫感染、糞口感染で、保育園や学校での集団感染が起こることもあります。
- 感染を予防するために、うがいや石けんによる手指の消毒を行い、タオルの共用や人混みを避けましょう。体調が回復しても、ウイルス排泄はしばらく続き、便からも 1 ヶ月程度ウイルスが検出されることもあるため、油断大敵です。

◆ 病原体(ウイルス)検出情報(6月) ◆

* ウイルス分離同日での集計結果

検出病原体	北部	中部	南部	その他	臨床診断名
ロタ A	1	1	3		感染性胃腸炎(5)
ノロ GII		3			感染性胃腸炎(3)
ヒトメタニューモ		1			気管支炎、インフルエンザ様疾患(1)
インフルエンザ B		1			インフルエンザ(1)
アデノ 1		1			インフルエンザ様疾患、扁桃炎(1)
アデノ 2		1			アデノ咽頭炎(1)
エコー 25		1			発疹症(1)
パルボ B19		4			伝染性紅斑(1) 不明熱(パルボウイルス疑い)(3)※ ※同一患者の3検体(咽頭ぬぐい液・血清・尿)全てから検出

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 26 年 第 27 週 6 月 30 日 ~ 6 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	11	16	11	11	3	3	
インフルエンザ								
小児科定点数	35	7	10	7	7	2	2	
RSウイルス感染症	1 (0.03)	1 (0.14)						
咽頭結膜熱	29 (0.85)	4 (0.57)	17 (1.70)		7 (1.00)		1 (0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	36 (1.06)	15 (2.14)	10 (1.00)	4 (0.57)	3 (0.43)		4 (2.00)	
感染性胃腸炎	104 (3.06)	12 (1.71)	49 (4.90)	18 (2.57)	23 (3.29)	1 (1.00)	1 (0.50)	
水痘	30 (0.88)	16 (2.29)	11 (1.10)		3 (0.43)			
手足口病	25 (0.74)	6 (0.86)	17 (1.70)	1 (0.14)	1 (0.14)			
伝染性紅斑	1 (0.03)			1 (0.14)				
突発性発しん	9 (0.26)	6 (0.86)	2 (0.20)	1 (0.14)				
百日咳	1 0	1 0						
ヘルパンギーナ	171 (5.03)	48 (6.86)	44 (4.40)	46 (6.57)	22 (3.14)	6 (6.00)	5 (2.50)	
流行性耳下腺炎	8 (0.24)	1 (0.14)	3 (0.30)	4 (0.57)				
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎							-	
流行性角結膜炎	2 (0.22)			2 (1.00)			-	
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎	1 (0.17)		1 (0.50)					-
無菌性髄膜炎								-
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)						1 (1.00)	-
クラミジア肺炎								-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								-

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核 4件(奈良市 1、郡山 2、内吉野 1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 2件(郡山 2)
4類感染症	レジオネラ症 2件(桜井 1、内吉野 1)
5類感染症	アメーバ赤痢 1件(奈良市 1)

❖ 第27週のトピックス ❖

◆西アフリカでエボラ出血熱が発生しています(厚生労働省検疫所)
<http://www.forth.go.jp/topics/2014/07041458.html>

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計	累計
インフルエンザ	男女																					5965 5982
RSウイルス感染症	男女				1																	133 117
咽頭結膜熱	男女		1	2	1	4		1	2		1											12 17
A群溶連菌咽頭炎	男女	1	2		1	2	4	5	4					1								22 14
感染性胃腸炎	男女	1	6	11	2	4	4	1	2	2	3		7	6	5							54 50
水痘	男女			2	2	2	4	1	2	2	1	1										13 17
手足口病	男女			6	1	4	3															14 11
伝染性紅斑	男女			5	4		1															1 1
突発性発しん	男女		3	3																		6 3
百日咳	男女		1																			1 1
ヘルパンギーナ	男女	1	4	26	16	12	16	7	1	1			1									84 87
流行性耳下腺炎	男女			1							3											4 4
急性出血性結膜炎	男女																					
流行性角結膜炎	男女														1				1			47 51
細菌性髄膜炎	男女																1					1 1
無菌性髄膜炎	男女																					5 1
マイコプラズマ肺炎	男女			1																		1 2
クラミジア肺炎	男女																					
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																					18 18

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H26 ▲ H25 □ H24 〻 過去10年平均

